

東京海上・スタイルアルファ・ グローバルマクロファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合/特殊型（絶対収益追求型） （課税上は株式投資信託として取扱われます。）	
信託期間	2019年9月30日から2029年8月20日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。	
主要投資対象	東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロファンド	「東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド」を主要投資対象とします。
	東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド	国内の債券を主要投資対象とし、国内外の債券先物取引および外国為替予約取引を主要取引対象とします。
投資制限	東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロファンド	・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。（ただし、転換社債の転換、新株引受権の行使および新株予約権の行使により取得する場合に限ります。） ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド	・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。（ただし、転換社債の転換、新株引受権の行使および新株予約権の行使により取得する場合に限ります。） ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の、繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。 収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。	

第1期 運用報告書（全体版）

（決算日 2020年8月20日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロファンド」は、このたび、第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口
東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016
受付時間：営業日の9時～17時
<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率		期 騰 落 中 率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2019年9月30日	10,000	—	—	100.00	—	—	—	500
1期(2020年8月20日)	7,942	0	△20.6	99.97	△0.03	50.4	△57.1	397

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
		騰 落 率			
(設定日)	円	%		%	%
2019年9月30日	10,000	—	100.00	—	—
10月末	9,457	△ 5.4	100.00	△0.00	63.5
11月末	9,685	△ 3.2	99.99	△0.01	62.0
12月末	9,754	△ 2.5	99.99	△0.01	61.5
2020年1月末	10,013	0.1	99.99	△0.01	59.9
2月末	9,588	△ 4.1	99.99	△0.01	62.6
3月末	8,124	△18.8	99.98	△0.02	49.3
4月末	8,015	△19.9	99.98	△0.02	49.9
5月末	8,262	△17.4	99.98	△0.02	48.4
6月末	8,130	△18.7	99.97	△0.03	49.2
7月末	7,821	△21.8	99.97	△0.03	51.1
(期 末)					
2020年8月20日	7,942	△20.6	99.97	△0.03	50.4

(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

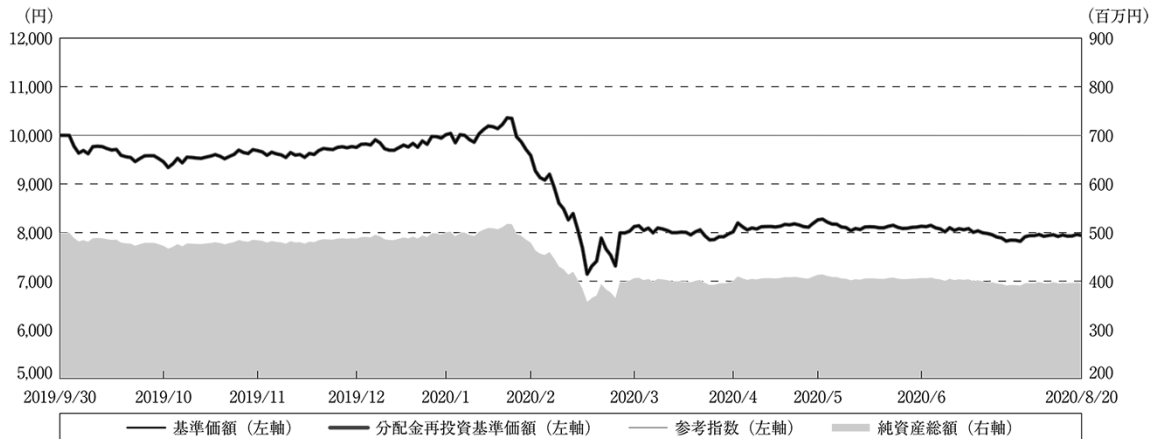
(注) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

参考指数は、無担保コール翌日物金利です。無担保コール翌日物金利は、設定日を100として指数化したものです。

○運用経過

(2019年9月30日～2020年8月20日)

■期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：7,942円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 20.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 参考指数は、無担保コール翌日物金利です。

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・通貨戦略において、リスクプレミアム(リスク資産の期待収益率と無リスク資産の収益率の差)が適正に評価されて過小評価されていた通貨が反発する局面があったこと

マイナス要因

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の停滞や、原油価格の乱高下による信用リスクの高まり等を背景に、証券価格の相関関係の乱れや市場ボラティリティ(変動性)の上昇が顕著になり、債券戦略を中心にリスクプレミアムが適正に評価されない状態に陥ったこと

■投資環境

【グローバル債券市場動向】

当期、主要国の長期国債利回りは米国が大幅に低下し、他の主要国は上下に変動しながら低水準での動きとなりました。設定時から2020年初にかけては、米中貿易協議の進展や英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念の後退から、主要国の長期国債利回りは上昇基調で推移しましたが、3月に入り新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大すると急低下しました。その後FRB（米連邦準備制度理事会）が緊急利下げや大規模な資産購入を発表したこと、ECB（欧州中央銀行）がPEPP（パンデミック緊急購入プログラム）の導入を決定したことなどを受けて債券市場は落ち着きをみせ、主要国の長期国債利回りは低水準での動きとなりました。

【外国為替市場動向】

米ドルの総合的な価値を示すドルインデックスは、設定時から2020年2月にかけて、おおむね横ばいで推移しました。3月に入り新型コロナウイルスの感染拡大を背景に一旦下落しましたが、FRBの施策発表を受けて大きく反発しました。その後は欧州復興基金の設立への期待からユーロ高が進んだ影響もあり、ドルインデックスは下落基調となり、設定時対比下落した水準で期を終えました。

■ポートフォリオについて

＜東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロファンド＞

「東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持しました。

当ファンドの基準価額は、マザーファンドの値動きを反映し、20.6%下落しました。

＜東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド＞

国内外の債券先物取引および外国為替予約取引を積極的に活用することにより、特定の市場動向に左右されにくい収益の追求を目指しました。運用にあたっては、複数の価格変動要因（モメンタム、バリュー、キャリー、クオリティ）に着目して資産の評価を行い、買建て（ロング）および売建て（ショート）によりポジションを構築するとともに、各ポジションのリスク水準や相関性等を勘案して配分を決定し、ポートフォリオを構築しました。

当期は、通貨モメンタム戦略は奏功したものの、債券バリュー戦略等が不冴えとなりました。

以上の運用の結果、基準価額は19.2%下落しました。

【資産別構成比率】

2020年8月20日現在

種 類	買建て	売建て
債券先物取引	152.0%	-209.0%
外国為替予約取引	71.0%	-85.9%

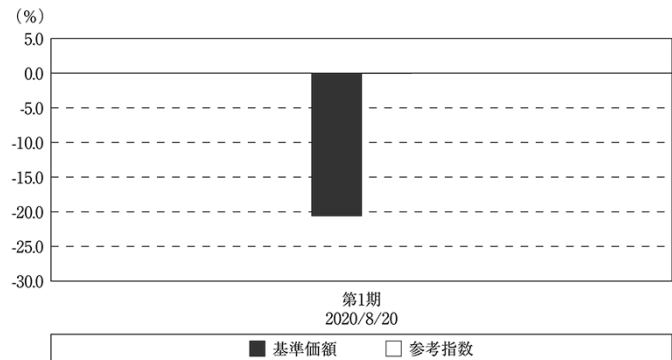
※比率は、純資産総額に占める割合です。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、無担保コール翌日物金利です。

■分配金

当期においては、分配可能原資がないため、収益分配を行わないこととしました。

◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期
	2019年 9 月 30 日～ 2020年 8 月 20 日
当期分配金 (対基準価額比率)	— — %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	—

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

＜東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロファンド＞

「東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド」を主要投資対象とし、高位の組入比率を維持します。

＜東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド＞

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、市場流動性の枯渇などにより金融市場の変動性が高まったことで、投資対象ごとの投資魅力度分析の効果が発揮し難い環境となっています。しかし、今後金融市場の安定化が進むにつれて、当ファンドが着目するファンダメンタルズ評価の有効性が高まると考えています。

引き続き、各戦略にバランス良くリスクを配分することにより、特定の市場動向に左右されにくい安定した収益の追求を目指します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年9月30日～2020年8月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 135	% 1.504	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(70)	(0.784)	*委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
(販 売 会 社)	(62)	(0.686)	*購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.034)	*運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	23	0.251	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	(23)	(0.251)	*売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	20	0.220	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(15)	(0.164)	*保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.010)	*監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(4)	(0.046)	*その他は、信託事務等に要する諸費用
合 計	178	1.975	
期中の平均基準価額は、8,986円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

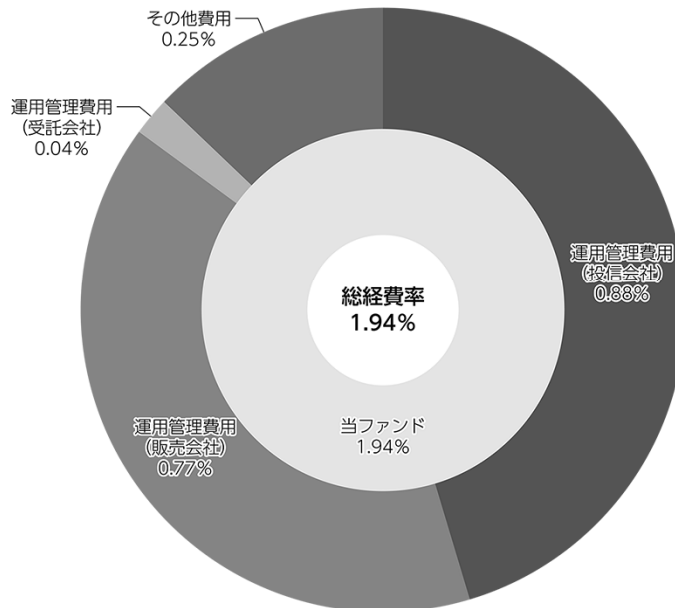
(注) 売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年9月30日～2020年8月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド		500,000	500,000	8,296	6,705

○利害関係人との取引状況等

(2019年9月30日～2020年8月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年8月20日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド		491,703	397,099

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年8月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド	397,099	99.3
コール・ローン等、その他	2,691	0.7
投資信託財産総額	399,790	100.0

(注) 東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（△50,185千円）の投資信託財産総額（406,204千円）に対する比率は△12.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル＝106.09円、1カナダドル＝80.26円、1ユーロ＝125.67円、1英ポンド＝139.05円、1豪ドル＝76.24円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年8月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	399,790,197
東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロファンド(評価額)	397,099,422
未収入金	2,690,775
(B) 負債	2,690,775
未払信託報酬	2,673,428
その他未払費用	17,347
(C) 純資産総額(A－B)	397,099,422
元本	500,000,000
次期繰越損益金	△102,900,578
(D) 受益権総口数	500,000,000口
1万口当たり基準価額(C／D)	7.942円

(注) 当ファンドの設定時元本額は500,000,000円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況 (2019年9月30日～2020年8月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△ 96,194,846
売買損	△ 96,194,846
(B) 信託報酬等	△ 6,705,732
(C) 当期損益金(A＋B)	△102,900,578
(D) 計(C)	△102,900,578
(E) 収益分配金	0
次期繰越損益金(D＋E)	△102,900,578

(注) (A) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 信託財産の運用指図に係る権限の一部を委託するために要した費用として、純資産総額に対して年1万分の45の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しています。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	当 期
a. 配当等収益(費用控除後)	0円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	0円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	0円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	0円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド

運用報告書 第1期（決算日 2020年8月20日）

（計算期間 2019年9月30日～2020年8月20日）

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド（親投資信託）の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
（設定日） 2019年9月30日	円 10,000	% —	100.00	% —	% —	% —	百万円 500
1期(2020年8月20日)	8,076	△19.2	99.97	△0.03	50.4	△57.1	397

（注）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

（注）設定日の基準価額は、設定時の価額です。

（注）設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落	率	騰 落	率		
（設定日） 2019年9月30日	円 10,000	% —	100.00	% —	% —	% —
10月末	9,471	△ 5.3	100.00	△0.00	63.4	△316.7
11月末	9,712	△ 2.9	99.99	△0.01	61.8	2.5
12月末	9,795	△ 2.1	99.99	△0.01	61.3	88.0
2020年1月末	10,069	0.7	99.99	△0.01	59.6	△140.2
2月末	9,657	△ 3.4	99.99	△0.01	62.1	△ 93.2
3月末	8,206	△17.9	99.98	△0.02	49.3	28.3
4月末	8,108	△18.9	99.98	△0.02	49.8	△ 41.7
5月末	8,368	△16.3	99.98	△0.02	48.3	△ 38.7
6月末	8,247	△17.5	99.97	△0.03	49.0	△ 9.9
7月末	7,947	△20.5	99.97	△0.03	50.8	△ 46.2
（期 末） 2020年8月20日	8,076	△19.2	99.97	△0.03	50.4	△ 57.1

（注）騰落率は設定日比です。

（注）債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

参考指数は、無担保コール翌日物金利です。無担保コール翌日物金利は、設定日を100として指数化したものです。

○運用経過

(2019年9月30日～2020年8月20日)

■期中の基準価額等の推移

設定日：10,000円

期 末：8,076円

騰落率：△19.2%

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・通貨戦略において、リスクプレミアム（リスク資産の期待収益率と無リスク資産の収益率の差）が適正に評価されて過小評価されていた通貨が反発する局面があったこと

マイナス要因

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の停滞や、原油価格の乱高下による信用リスクの高まり等を背景に、証券価格の相関関係の乱れや市場ボラティリティ（変動性）の上昇が顕著になり、債券戦略を中心にリスクプレミアムが適正に評価されない状態に陥ったこと



(注) 参考指数は、設定時の値が基準価額と同一になるように指数化したものです。

(注) 参考指数は、無担保コール翌日物金利です。

■投資環境

【グローバル債券市場動向】

当期、主要国の長期国債利回りは米国が大幅に低下し、他の主要国は上下に変動しながら、低水準での動きとなりました。期初から2020年初にかけては、米中貿易協議の進展や英国の合意なきEU（欧州連合）離脱懸念の後退から、主要国の長期国債利回りは上昇基調で推移しましたが、3月に入り新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大すると急低下しました。その後FRB（米連邦準備制度理事会）が緊急利下げや大規模な資産購入を発表したこと、ECB（欧州中央銀行）がPEPP（パンデミック緊急購入プログラム）の導入を決定したことなどを受けて債券市場は落ち着きをみせ、主要国の長期国債利回りは低水準での動きとなりました。

【外国為替市場動向】

米ドルの総合的な価値を示すドルインデックスは、期初から2020年2月にかけて、おおむね横ばいで推移しました。3月に入り新型コロナウイルスの感染拡大を背景に一旦下落しましたが、FRBの施策発表を受けて大きく反発しました。その後は欧州復興基金の設立への期待からユーロ高が進んだ影響もあり、ドルインデックスは下落基調となり、設定日比下落した水準で期を終えました。

■ポートフォリオについて

国内外の債券先物取引および外国為替予約取引を積極的に活用することにより、特定の市場動向に左右されにくい収益の追求を目指しました。運用にあたっては、複数の価格変動要因（モメンタム、バリュー、キャリー、クオリティ）に着目して資産の評価を行い、買建て（ロング）および売建て（ショート）によりポジションを構築するとともに、各ポジションのリスク水準や相関性等を勘案して配分を決定し、ポートフォリオを構築しました。

当期は、通貨モメンタム戦略は奏功したものの、債券バリュー戦略等が不冴えとなりました。

以上の運用の結果、基準価額は19.2%下落しました。

○今後の運用方針

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、市場流動性の枯渇などにより金融市場の変動性が高まったことで、投資対象ごとの投資魅力度分析の効果が発揮し難い環境となっています。しかし、今後金融市場の安定化が進むにつれて、当ファンドが着目するファンダメンタルズ評価の有効性が高まると考えています。

引き続き、各戦略にバランス良くリスクを配分することにより、特定の市場動向に左右されにくい安定した収益の追求を目指します。

○1万口当たりの費用明細

(2019年9月30日～2020年8月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 23 (23)	% 0.251 (0.251)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 * 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	19 (15) (4)	0.209 (0.163) (0.046)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 * 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 * その他は、信託事務等に要する諸費用
合 計	42	0.460	
期中の平均基準価額は、9,052円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2019年9月30日～2020年8月20日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	1,000,402	100,002 (700,000)

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません)

(注) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

○派生商品の取引状況等

(2019年9月30日～2020年8月20日)

先物取引の銘柄別取引・残高状況

銘柄別			買 建		売 建		当 期 末 評 価 額		評 損 額	価 益
			新 買 付 規 額	決 済 額	新 売 付 規 額	決 済 額	買 建 額	売 建 額		
国 内	債券先物取引	10年国債標準物	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
			—	—	7,060	6,760	—	303		0.0167
外 国	債券先物取引	US 10YR NOTE	183	183	742	746	29	—		0.053045
		US 10YR NOTE	—	—	464	478	—	—		—
		US 10YR NOTE	539	504	149	149	—	—		—
		US 10YR NOTE	—	—	284	283	—	—		—
		CAN 10YR BND	—	—	1,042	1,047	73	—		△0.553793
		CAN 10YR BND	—	—	797	788	—	—		—
		CAN 10YR BND	73	—	312	314	—	—		—
		CAN 10YR BND	70	70	514	512	—	—		—
		AUST 10YR 6%	768	715	211	201	351	—		1
		AUST 10YR 6%	368	381	—	—	—	—		—
		AUST 10YR 6%	452	111	—	—	—	—		—
		AUST 10YR 6%	422	419	211	212	—	—		—
		LONG GILT FT	342	342	206	208	—	38		0.180765
		LONG GILT FT	558	547	36	36	—	—		—
		LONG GILT FT	108	108	218	192	—	—		—
		LONG GILT FT	—	—	657	656	—	—		—
		EURO-OAT FUT	2,015	2,021	—	—	148	—		0.096765
		EURO-OAT FUT	1,807	1,777	—	—	—	—		—
		EURO-OAT FUT	148	—	101	105	—	—		—
		EURO-OAT FUT	2,077	2,059	—	—	—	—		—
		EURO-BUND FU	145	147	865	865	—	488		△ 1
		EURO-BUND FU	83	80	770	767	—	—		—
		EURO-BUND FU	—	—	474	—	—	—		—
		EURO-BUND FU	124	125	545	541	—	—		—

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2019年9月30日～2020年8月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年8月20日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	200,000	200,012	50.4	—	—	—	50.4
	(200,000)	(200,012)	(50.4)	(—)	(—)	(—)	(50.4)
合 計	200,000	200,012	50.4	—	—	—	50.4
	(200,000)	(200,012)	(50.4)	(—)	(—)	(—)	(50.4)

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第917回国庫短期証券	—	200,000	200,012	2020/9/23
合 計		200,000	200,012	

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別			当 期 末
			買 建 額 売 建 額
国内	債券先物取引	10年国債標準物	百万円
			— 303
外国	債券先物取引	CAN 10YR BND	73 —
		LONG GILT FT	— 38
		EURO-OAT FUT	148 —
		EURO-BND FUT	— 488
		US 10YR FUT	29 —
		AUST 10YR 6%	351 —

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2020年8月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	200,012	49.2
コール・ローン等、その他	206,192	50.8
投資信託財産総額	406,204	100.0

(注) 当期末における外貨建純資産 (△50,185千円) の投資信託財産総額 (406,204千円) に対する比率は△12.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値で邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは 1米ドル=106.09円、1カナダドル=80.26円、1ユーロ=125.67円、1英ポンド=139.05円、1豪ドル=76.24円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年8月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,022,903,111
コール・ローン等	88,927,630
公社債(評価額)	200,012,600
未収入金	621,234,932
差入委託証拠金	112,727,949
(B) 負債	625,795,816
未払金	623,104,898
未払解約金	2,690,775
未払利息	143
(C) 純資産総額(A－B)	397,107,295
元本	491,703,099
次期繰越損益金	△ 94,595,804
(D) 受益権総口数	491,703,099口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,076円

(注) 当親ファンドの設定時元本額は500,000,000円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は8,296,901円です。

<元本の内訳>

東京海上・スタイルアルファ・グローバルマクロマザーファンド 491,703,099円

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況 (2019年9月30日～2020年8月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 42,790
受取利息	670
支払利息	△ 43,460
(B) 有価証券売買損益	△ 20,335,059
売買益	146,353,568
売買損	△166,688,627
(C) 先物取引等取引損益	△ 74,850,596
取引益	114,868,464
取引損	△189,719,060
(D) 保管費用等	△ 958,528
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 96,186,973
(F) 解約差損益金	1,591,169
(G) 計(E+F)	△ 94,595,804
次期繰越損益金(G)	△ 94,595,804

(注) (B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分です。